

うたづ 議会だより

2018
第69号
11.1
香川県宇多津町

～カゴから玉があふれそう～

台風接近が心配されましたが、すばらしい秋晴れの下わかさ保育園・わかさ北保育園合同の運動会が行われました。子どもたちは、元気いっぱい競技や演技に取り組んでいました。



町政を問う

6

応援しようでえ～！
うたづっ子

宇多津中学 ニュージーランド研修

15

元気ななかま ソフトバレーボール「ACTIVE」

16

観光で交流人口の増加を目指す



平成30年第3回定例会は、9月5日から14日まで開催され、慎重に審議した結果、29年度の一般会計と特別会計6件の決算を認定しました。また、議案3件を可決し、町議会議員補欠選挙に関する予算の専決処分を承認しました。

おもな内容

平成29年度決算

(歳入77億8698万円、歳出71億7296万円)

ふるさと納税が県下で3位に

(2億3800万円)

27年度には寄付額58万円で、860万円もの町民税がほかの自治体に流出していた。担当の努力により、2億3800万円の寄付額となり、経費などを差し引いた実収入も9500万円となった。

(④ページに関連記事)

「あみのうら交流センター」

(2億1700万円)

世代間交流センターとして「あみのうら交流センター」を新築。駐車場などの外構工事は、来年2月末に完了予定。フラットな駐車場にするので、イベント広場として使える。

(④ページに関連記事)

地籍調査は50%完了

(2500万円)

29年度の地籍調査は、網之浦地区、横町、浦町、本町などで、面積では全体の50%が完了している。30年度は西町、宇夫階を調査する。

交流人口の増加を目指した観光費

(3100万円)

観光費のうち委託費では、アロハナイト(330万円)、出張水族館運営管理(50万円)、収穫祭(1170万円)などとなっている。また、夏祭り実行委員会(270万円)、町家とおひなさん実行委員会(240万円)などに補助金を出している。

収穫祭の金額が飛びぬけて多いのは、2日間道路を歩行者天国にするための警備費。そのほか会場設営のための人件費による。



たくさんの人でにぎわう収穫祭

平成30年度補正予算

コミュニティ会館のトイレ改修

(4200万円)

コミュニティ会館の改修を随時進めている。今年度は自治会からの要望もあり、宇夫階コミュニティのトイレを改修する。墓地利用者も考慮して、中からも外からも利用できるようにする。

「宇多津に住みたい」と思ってもらえる町へ

29年度会計決算の監査委員意見より

《黒字決算、財政はおおむね健全》

平成29年度の一般会計および特別会計の実質収支は、いずれも黒字決算であった。また、財政運営全般の健全度を示す数値を確認しており、町の財政はおおむね健全であると言える。

しかし31年度からは、庁舎耐震改修事業などで借り入れた町債の返還が始まる。健全化の基準を超えることはないが、施策の詳細にわたる精査で、バランスの取れた財政運営を望む。

《歳入では滞納対策を》

歳入では、町税、保険料などはそれぞれの会計において重要な自主財源である。納税者や被保険者の立場を尊重しつつも、受益者負担の公平性を保つために、滞納対策など信用の確保に努めていただきたい。

《歳出では、事業の検証を》

歳出では各課において様々な施策を実施しているが、各種団体に委託した業務や補助事業もある。事業の実施だけでなく、

く、効率性・有効性・妥当性についても検証し、しっかりと監理してほしい。

《住みたい町「宇多津」へ》

先進地視察や研修には積極的に参加し、自己研鑽や人材育成を進めてほしい。町長を始めとする3役、議員には積極的なリーダーシップを期待する。町外の人からも「宇多津に住みたい」と思ってもらえる行政運営に取り組んでいただきたい。



補助事業「大松杯」は今年で第25回を数えた

本会議 議員の賛否

○ 賛成 × 反対 欠 欠席(議長は、賛否同数の時のみ可否を決定する)

主な審議案件		港	大黒	井上	西本	濱中	柴村	宮本	青木	藍川
認定	平成29年度 宇多津町一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	—	○	○	○
	平成29年度 国民健康保険特別会計決算	○	○	○	○	○	—	○	○	○
	平成29年度 介護保険特別会計決算	○	○	○	○	○	—	○	○	○
	平成29年度 後期高齢者医療特別会計決算	○	○	○	○	○	—	○	○	○
	平成29年度 下水道事業特別会計決算	○	○	○	○	○	—	○	○	○
	平成29年度 はなの森墓地公苑整備事業特別会計決算	○	○	○	○	○	—	○	○	○
	平成29年度 水道事業特別会計決算	○	○	○	○	○	—	○	○	○
議案	平成30年度 宇多津町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○
	平成30年度 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○
	後期高齢者医療に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	—	○	○	○
承認	町議会議員補欠選挙に関する予算の補正(専決処分)	○	○	○	○	○	—	○	○	○

ふるさと納税の返礼品を見直す

総務建設常任・合同委員会

ふるさと納税の返礼品

Q 総務省からの通達があったと思うが、返礼品の見直しはするのか。

A 町に寄付されたのは2億3800万円。返礼品の金額の割合は、寄付額の4割程度。総務省の通知を受け、返礼品の金額を寄付額の3割以内にするが、地場産品については範囲が不確実。 [②ページに関連記事](#)

総務課

あみのうら交流センター

Q 高齢者や障がい者が使う施設なのに、お手洗いにドライタオルがない理由は。

A 金額的に高かったので設置しなかった。ペーパータオルを設置したい。 [②ページに関連記事](#)

Q あみのうら交流センターの1階に物販やカフェコーナーが入ると聞いていたが。

A 実務的な話をしている。社協に委託の方向で、話を詰めている。



10月にオープンした「カフェコーナー」

保健福祉課

防犯カメラの録画

Q 防犯カメラの録画の管理は。

A 保守点検の業者が管理し、きちんと動いているかを確認している。事件に関する依頼があれば警察などに提供する。

住民生活課

墓地の管理料

Q 墓地管理料を徴収してないが、墓地を整備するために少額でも徴収するべきでは。

A 今のところ、その予定はない。

住民生活課

創業支援

Q 昨年度、創業支援の補助金を受けた件数と業種は。

A 1件。結婚相談所を創業された。

まちづくり課

公立保育所の保育士の数

Q 臨時職員の11名は多すぎないか。臨時ではなく正規職員を採用するべきでは。

A 基準通りに採用すると、人手が足りない。
加配の分は臨時職員で対応している。

保健福祉課



濱中 保夫 議員

AVS車の購入

県が全国に先駆けて実施している／住民生活課長

問 最近の交通事故の傾向として高速道路の逆走、アクセルとブレーキの踏み間違えなど、特に高齢者の人たちに多く、香川県では平成28年度からAVS車の購

入に対し補助金を出している。平成30年度からは、65歳〜79歳に制限し補助金3万円を出している。宇多津町でも補助金は可能か。

浜田住民生活課長

AVS

車購入時の補助金は香川県で初めて導入した補助金で香川県における交通事故が多いためのものである。宇多津町では免許返納を促す施策を行っていることから、導入については今後の課題と考えている。

AVSとは、先進安全自動車。自動ブレーキ、車線逸脱警報、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、先進ライトがついた車。

LGBTQの人たちの人権

人権教育や啓発で取り組んでいく／住民生活課長

問 LGBTQとは、同性

自殺対策計画の啓発にはそのことが書かれているか。

レ入り口に性の多様性を表すレインボーフラッグを掲示する

が好き人や自分の性別に違和感のある人たちを表す。町の人権に関する計画、男女平等や共同参画計画の啓発、いじめ防止条例にはLGBTQなどの人権課題は盛り込まれているか。また、

浜田住民生活課長 宇多津

町人権教育・啓発に関する基本計画の中に、新たな人権課題として記載している。また、一階のだけでもトイ

など、当事者たちが住みよい町になるよう偏見解消のため一層の啓発に取り組んでいきたい。



レインボーフラッグを掲示したトイレ

LGBTQとは、女性同性愛者、男性同性愛者、両性愛者、トランスジェンダー、クエスチョニングの各単語の頭文字を組み合わせた表現。



宮本 隆 議員

災害ごみ廃棄物処理計画の策定は

県有地を候補地とし計画書を県に提出／住民生活課長

問 環境省によると、全国1741市区町村を対象に調査、その結果、災害ごみ廃棄物処理計画を策定済みは23・7%だった。

宇多津町は災害が少ないところではあるが、今はいつ・どこで・どのような大きな災害が発生するか

らない。町は、災害ごみ廃棄物処理計画の策定をどのようににされているのか。

浜田住民生活課長

計画の中で重要な位置を占めるのが、ご指摘の廃棄物の仮置き場である。町有地は避難場所や仮設住宅などの予定

地で、仮置き場の最適地がなく、吉田地区の県有地を県と調整し、候補地とし計画書を県に提出している。

番の州のYKKAPがある地区

再質問 吉田地区へは、運搬できなくなる事もあるの

浜田住民生活課長

吉田地区への運搬経路に、支障がでる事も考えられる。運搬経路が確保されるまでの、臨時の仮置き場も検討していきたい。

街路樹や公園の樹木管理状況は

樹木など、みどりの適性管理に努める／地域整備課長

問 木が効果を発揮するよう、土地に適した樹種を選び植栽することが望ましい。街路樹や公園の樹木は、管理を怠らず定期的な点検・剪定を行い、異常があれば治療や伐採除去などの対応をとり、事故や被害を回避することが必要である。町

内にも多くの街路樹や公園の樹木があるが、どのような維持管理を行っているのか。

浅野地域整備課長

町内では、街路に43種類約1600本、公園に83種類約1900本の樹木を配置し、管

理している。実際の育成状況を確認し周辺環境との調整を図りながら、概ね4年で一巡するよう剪定等作業を実施している。

再質問

管理者が点検しなければならぬ。専門知識のある方に、簡易な診断力

浅野地域整備課長

樹木を管理する上で、診断カルテなども必要であると認識している。ご意見もいただいたので、それに向けて事務処理していきたい。



青木 義勝 議員

避難情報は「伝える」より「伝わる」情報発信を

避難行動につながる情報発信に努める／危機管理課長

問 西日本豪雨では、タイムラインで情報が発信され、市町村長から、逐次避難情報が発令された。しかし現場では多くの犠牲者が出た。なぜ身を守る行動へとつながらなかったのか、「伝えたい」より「伝わる」情報発信が求められる。また、河川や水路など、インフラの整備は。

和田危機管理課長 平成28年に、分かりやすい表現として「避難準備情報」は「避難準備・高齢者等避難開始」に、「避難指示」は「避難指示（緊急）」に改正された。避難情報は、国のガイドラインに沿って、防災無線・ラジオ・緊急速報メールなど、多様な手段で伝えられているが、なお「住民の避難行動につながるような分かり

やすい伝達」に努めたい。

浅野地域整備課長 排水は3つのポンプ場で対応している。今後も排水など維持強化を図り、河川の改修なども管理者の県と協議を進めていきたい。

「運営マニュアル策定」が必要では。

和田危機管理課長 災害発生時は職員を中心に避難所の開設・運営を行い、数日後には自治会や自主防災の方々に運営を行っていたきたい。現在、避難所運営マニュアルを作成していますが、「簡素版マニュアル」も調査検討したい。

がん征圧月間の意義

乳がん受診率4.4倍に、生徒の意識向上2.5倍／健康増進課長

問 2人に1人が「がん」になる時代。現在のがん受診状況は。平成25年から「がん教育」が始まり、東大准教授の中川先生に学校や住民向けの講演をいただいている。専門誌にも紹介されたが生徒や住民の意識、受診率にどのような変化があったか。

また、胃がんの98%はピロリ菌と言われている。除菌推進こそ「胃がん撲滅」でないか。

16.6%、胃がん17.1%、肺がん12.3%と増加している。平成30年からのピロリ菌検査のデータはまだ出ていない。がんの授業では、家庭でがんについて話す生徒が67人から169人に増加など、親の受診率や意識に大きな変化が伺えた。

再質問 ライフプランの大切な時期を迎えるAYA世代、予防など町の考えは。

中谷健康増進課長 平成20年に対する29年の受診者数は、乳がん4.43%、子宮頸がん15.1%、大腸がん

中谷健康増進課長 地域が

ん対策の拠点施設との連携など、何ができるか、何に留意するべきかなど、中川先生の意見を伺いたい。

思春期から青年期世代



藍川佳津樹 議員

圏域行政への取り組みの考え方

発展的なものにしていきたい／町長

圏域行政とは、複数の市町村で共通の課題を解決する団体構成。急激な人口減少に対応するのがねらい。

問 平成の大合併が一段落したが、さらなる合併への取り組みは進んでいない。

将来にわたって基礎自治体の行政サービスの質を落とすことなく、持続可能な財政基盤を維持するため、圏域行政について、国の方でも圏域行政という概念を持ち出し、前向きに検討する旨記者発表があった。こ

れについて、町長はどのような考えをお持ちか。

谷川町長 圏域行政は都道府県や市区町村の区分を融合へと導く構想と認識している。広域組合による行政サービスには限度もあり、より大きな行政課題には、近隣市町など広い地域でのサービス体制の検討は必要

と考える。

再質問 7月に善通寺市・琴平町・多度津町共同の学校給食センターが竣工し、圏域行政のさきがけになった思いがする。これには近隣の首長が友好的に情報交換できる関係が重要と思うが。

谷川町長 県の町村長会会長としても、親しく意見交換をしている。本町の課題についても、近隣市町とこれまで情報交換をしてきたが、本格的にアクションを起こす時にきており、与えられている課題解決に、今後鋭意努力していく。

新婚家庭家賃補助制度の事業評価

町の利便性をPRし定住促進／まちづくり課長

問 標題の事業の趣旨、事業開始からの実績と評価委員の評価および事業者自己評価などの報告をお願いする。人口減対策として移住定住促進は全国で競って施策が講じられている。本町

でも同僚議員から移住定住促進について様々な提案があるが、これら提案諸施策との長短を測る意味で、本制度と同じ期間内の新築戸数はいかほどか。

濱田まちづくり課長 平成27年度から29年度の申請件数は198世帯で、補助金が2千5百万円余り。そのうち町外転出30世帯、町内で住宅取得8世帯。

以上、対象者のアンケート調査からも、町内への定住、町外への転出抑制に効果があることがうかがえる。



港 一紫 議員

町内公共施設などにおけるトイレ洋式化の推進

指定避難所の洋式化率は100%／危機管理課長

問 一昨年4月に発生した熊本地震や7年前に発生した東日本大震災において、避難者が一番困ったことに

トイレ問題がある。最近の子どもは洋式トイレに慣れ親しんでいるため和式トイレを使用することは困難に

なってきた。また高齢者や身体が不自由な人にとっても和式トイレは使用困難である。

指定避難所におけるトイレの洋式化率は何か。今後、各所コミュニティ分館のトイレの洋式化は。

和田危機管理課長 洋式化率は学校の指定避難場所は100%、保健センターは54%、全体では72%となっている。

浜田住民生活課長 コミュニティ分館の洋式化については地元の要望により少し。

ずつ整備を進めてきた。今後はコミュニティ分館については順次整備していきたい。



改修された北小のトイレ

谷川俊博町長2期目4年の成果は

住みやすい町となる種をまいた／町長

問 任期満了に伴う宇多津町長選挙は、平成30年9月

25日（火曜日）告示、同月30日（日曜日）投票である。宇多津町長としてこの4年間を振り返り4年前の就任時の施策や成果と自己評価をお聞きしたい。

谷川町長 評価は町民の皆様がされることであり皆様

からの信任が1番の評価と考えている。1期目就任の4年間で日本一住みやすい町となるべくたくさんの種をまいた。2期目では綺麗な花が咲き大きな広がり

進化するための準備ができた。

再質問 今月末の宇多津町長選挙に立候補表明をされているが、3期目として宇多津町民の生命と財産を守ると共に新たな改革はありますか。

谷川町長 住民目線に立ち、住民の声に耳を傾け、時代に適した施策を展開することに町全体の活性化に繋がりたい。次世代の宇多津町のためにご理解、ご協力をお願いしたい。



大黒 一也 議員

学校における熱中症対策

経口補水液やスポーツ飲料水も確保している／教育次長

問 体育、校外活動、クラブ活動などで、暑い日差しの中、元気に屋内外で顔を真っ赤にしながら、汚れた顔に汗をかきながら活動している姿を見ていると、熱中症にならないのかと心配になる。子どもたちは大丈夫と言って、夢中になれば水分補給も取らないこともあるが、今現在、暑さ対策

や安全な水分補給について、また先生の熱中症に関する知識の習得はどのように指導されているのか。

高瀬教育次長

日常として、

エアコンの適切な使用、休み時間での補給の呼びかけ、経口補水液、スポーツ飲料水も確保している。体育の授業や校外活動は中止や屋

内に変更し、涼しい部屋で、クールダウンするようにしている。部活動は、早朝や夕方への変更を実施している。帽子の着用、日陰での休息、先生の知識の習得は、熱中症に関するリーフレットなどを利用し養護教諭が指導している。

高瀬教育次長

スポーツ飲料水については学校と相談して決めていきたい。中学校の体育館には測定機の設置はしている。小学校は今後検討する。

再質問

平日の部活用としてスポーツ飲料水の持参は、暑さ指数を図る測定機の導入は。

児童虐待の防止は

虐待の有無を判断し、支援方法を決定し対応する／保健福祉課長

問 11月を児童虐待防推進月間と定められ、全国各地で民間団体や自治体などオンラインボランティア運動が推進されている。昨年は事件が80件強起き、年々虐待に苦しむ子供が増え続けており、未来を担う子どもを育てるためにも、地域で親を支え

る環境が大切だと思う。今までの相談件数、また、情報があった場合、プライバシー保護も含めての対処の仕方は。

木下保健福祉課長

平成27

年30件、28年50件、29年62件と年々増加している。速

やかに内部協議を開き、虐待内容や緊急性に応じての初動調査、事実確認のため、原則、48時間以内に職員の日視により児童の安全確認を行い、虐待の有無を判断し、情報者の守秘義務の徹底も図り、西部子ども相談センターとも連携、情報共

有しながら、支援方法を決定し対応していく。

再質問

幅広く知ってもらうため、今後の周知啓発は。

木下保健福祉課長

今年度

から広報にリーフレットを折り込んで全戸配布する。



井上 弘治 議員

妊婦さんタクシー券の運用を問う

年度内は産後でも利用できる／健康増進課長

問 住民の方々からの声で

ある。本町の妊婦さんタクシー券という助成制度があるが、適切に運用されているのか尋ねる。住民は担当課から出産後はこの制度は利用できないと言われた。私も担当窓口で尋ねたが、同じ返答だった。この制度の概要についてお聞きする。

谷川町長 この件について

住民の皆様によくお詫び申し上げる。制度の解釈が少し誤っていた。担当課より説明する。

中谷健康増進課長 母子健康手帳の交付時、希望者に交付。また転入する妊婦さんの希望者にも交付。当券

は出産予定日の年度末まで使用可能。運用の誤りがあり担当課として深くお詫びする。対象者には速やかに産後も利用可の連絡をした。

社会変化による新交通インフラは

新しい時代に合った交通インフラを目指す／町長

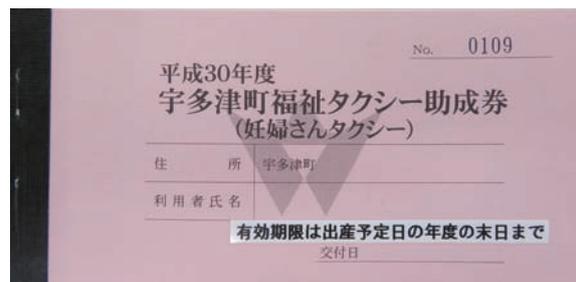
問 内閣府で地方自治体の

広域圏の議論。75歳以上の免許返納者の急増。高齢者の通院、役所への必要的な交通費の増加から生活費が圧迫。このような社会的要因がありコミュニティバス等の取り組みについての声が出ている。また、自動車

産業の技術革新により全国の市町が新たな取り組みを行っている。それらを踏まえ、本町の考えを尋ねる。

谷川町長 交通弱者への福祉向上の観点から導入が有効である。運行に向けて高い課題もある。今後「地方

制度調整会」が、2020年を目処に近隣市町が協力した行政サービスについて報告書を取りまとめる。そこで圏域行政サービスの動きも注視して事業推進の参考にしたい。



妊婦さんタクシーチケット



西本 祐子 議員

「ひきこもり」とは長期にわたって学校や仕事に行かず、社会との接触を断ち、自宅にこもって生活している状態。最近はおとなのひきこもりも増えており、引きこもり本人の年齢は平均31.6歳、平均期間は10年。

おとなのひきこもり対策を

町では予約制で個別相談を行っている／保健福祉課長

問 「ひきこもり」の人数はここ8年は増加傾向で、平均年齢も上がっている。小中学生の場合は学校や教育委員会などの専門家の支援を受けることができる。おとなのひきこもりの場合は、支援の機会がほとんど

ないが、町でも支援ができないか。現在、おとなのひきこもりの人数や実態、相談があった場合にはどのような対応をしているのか。

木下保健福祉課長 町内の実態調査は行っていない。県では高松市の「香川県ひきこもり地域支援センター」で、相談窓口や関係機関との連携、普及啓発、ひきこもりサポーターの養成などを行っている。また、高松市のNPO法人KHJ香川県オリーブの会でもひきこもり傾聴サロンなどの活動をしている。本町では、保健センターの相談支援センターで相談を受けている。また、臨床心理士による個別相談「こころの相談」を予約制で行っている。

「セカンドブック」で子どもを本好きに

時期や方法について前向きに検討する／教育長

問 「ブックスタート」で本のプレゼントは喜ばれているが次の段階の「セカンドブック」を始めてはどうか。幸い町内の幼稚園・保育所・小中学校では、読書活動に力を入れている。子どもの感性を育てるためにも読書は欠かせず、良い本に出会ってほしい。実施

している自治体では、専門家が選んだ読ませたい本の中から、子どもたちにプレゼントしているが。

合田教育長 町では平成26年度より「ブックスタート」の事業を実施している。3か月検診時に絵本を2冊渡し、ボランティアが絵本の読み聞かせをし、本の大切さを伝えること、また子どもにも実際に本や読書の大切さを伝えること、また子どもにも実際に本の面白さを感じてもらい読書の習慣を身に付けていくことがとても重要だと考えている。「セカンドブック」の実施は、時期や方法について前向きに検討していきたい。



「ブックスタート」で本を読むボランティアさん

地域のニーズに合った「子育て支援」

教育民生常任委員会

子育て応援企業・リフォーム補助

子育て世帯のアンケート調査で企業を応援

大分県宇佐市子育て支援課では子育て世代に対してアンケート調査を実施。その結果を参考に、仕事と子育ての両立がしやすい職場環境づくりに取り組む中小企業を応援している。現在は特に女性社員が多い3社が認定されている。育児休業取得者1人当たり20万円を限度に1企業10名まで助成が受けられる。

ちょっとしたリフォームで快適な子育てを応援

リフォーム補助では若年層向けのものと三世代同居世帯向けの2種類がある。若年層向けは子ども部屋の仕切りなど、三世代同居ではお風呂や台所の増築が多い。

小中から高校までつながる英語

外国人観光客が増加している由布市

大分県由布市でも海外からの観光客が増加している。そんな中で市内の小中学校に加え、高校も巻き込んだ英語の一貫教育を実施している。

小学生は外国人留学生と実践

小学生は近隣の大学の留学生による授業を受ける。また大学を訪問して、構内の留学生に話しかけるといった実践も行っている。

地域住民が学校を知る

「地域の学校を知る」コミュニティ・スクール

福岡県吉富町での導入のきっかけは、地域住民に学校を知ってもらうこと。およそ1年かけて元教育長・校長・自治会長・PTA会長などのメンバーで導入への研修会や会議を進めた。

地域の人々がどんどん学校に

メンバーは月に1度、昼休みに見守り隊として参加。避難経路の点検、給食の遅い子の対応、手洗い場の点検など先生とは違った視点で学校にアドバイスを。子どもたちと話したり授業の手伝いをしたりするなど学校運営にも参加。学校での授業と地域の方からの社会的授業の両方の「学び」により、幅広い教育が身に付き、家庭学習にも良い影響が出始めている。



コミュニティールール取組みの説明を受ける

第14回議会報告会

宇多津町議会では、議会活性化の取り組みの一つとして、平成21年から「議会報告会」を開催しています。みなさまに議会活動を知っていただき、ご意見をうかがいます。今回は29年度の決算などの説明の後、フリートークを予定しています。ぜひ、ご近所ご家族お誘いあわせの上、ご参加ください。

とき 平成30年11月16日(金) 午後7時から

ところ 保健センター4階

フリートーク
のテーマ

必ず起きる

地震が来た時に、何ができますか？

8月18日～25日、宇多津中学校の1～3年生9人がニュージーランドを訪れ、ワイタケレ・プライマリー・スクールの子もたちと交流しました。参加した中学生のほとんどが何とか英語は通じたものの、もっと喋れるようになりたいと前向きに語ってくれました。素晴らしい経験ができた生徒たちの今後の活躍に、乞うご期待！



参加した中学生

- ・外国の生活を知りたい。
- ・日本との違いを知りたい。
- ・食文化に興味があった。
- ・自分の英語力を確かめたい。
- ・英語をもっと学びたい。
- ・日本の良さを確かめたい。

参加の動機は？

先輩の発表を見て興味がわいた。

- 参加者(学年・50音順)
- 片山 莉子(1年)
 - 西原 真子(1年)
 - 原田 大雅(1年)
 - 松下 心桜(1年)
 - 宗藤 小春(1年)
 - 香川 已庵(2年)
 - 井上知花音(3年)
 - 宮崎 愛歌(3年)
 - やまもと ゆみか
 - 山本悠未花(3年)

応援しようでえ〜！
うねづっふ

宇多津中学 ニュージーランド研修



楽しいランチタイム



- 【学校】
- ・授業は少数制で、席は自由。
 - ・暑いからと靴を履いていない人もいた。
 - ・同じクラスで年齢層が幅広く、平等に話し合っていた。
 - ・授業中に調べ物をする時にスマホを使ってもOK。

- ・食事の時にコーラが出た。
- ・寿司屋のメニューが違う。(白身魚の多さとアボカド)

【食事】
ラム肉が多い。
ビール肉が多い。
作ったベレスト状の食品で、パンにつけて食べたりする。

- ・スーパーマーケットも広く、商品もビッグサイズ。
- ・英語のスピードが速かった。
- ・食べ物も家もビッグ。

【生活】

驚いたことは？



長なわとびを披露

ニュージーランドでは先住民族「マオリ」を始め、いろいろな民族の文化を尊重しています。また、豊かな自然のもと、家族を大切に暮らしていました。

英語力は大切なので、皆さんには話す力を付けてほしいです。



同行された
吉本校長先生

今思うことは？

- ・英語をもっと勉強したい。(4人)
- ・もう一度、ニュージーランドに行きたい。
- ・ヨーロッパにも行ってみたい。
- ・ホームステイを受け入れたい。(7人)
- ・英語を使う仕事がしてみたい。(4人)



とってもおしゃれな図書館で

元 気 な な か ま ぐ り ー づ 紹 介

ソフトバレーボール「ACTIVE」

チーム名「ACTIVE」は、爽やかな汗をかき、みんな
で活気あるソフトバレーボールを楽しもうという思いを込め
ています。平成21年秋頃に発足し、当初はクラブ登録者が男
女10数名でしたが、現在は約50名です。健康が目的の人や試
合重視の人など思いは様々ですが、20代から70代の幅広い年
齢層が、学校体育館を拠点として9年間、変わらずに活動し
ています。

種目は、メンズ、レディース、男女混合、年齢層別のもの
と親子で楽しめるファミリークラスなどがあります。練習は
毎週土曜日19時30分から21時30
分までで、近隣のチームが練習
に来ることもあり、多いときは
9チームで練習をすることもあ
ります。

バレーボール経験者はもちろ
ん、ソフトバレーボールに興味
のある方など幅広い方々に参加
いただき、生涯現役を目指して
町内でも多くのクラブができれ
ばいいと考えています。

どうぞお気軽に、運動ができる
服装でシューズを持ってぜひ一度、
体験にお越しください。

お問い合わせは

090-1007-9981

「ACTIVE s.v.c.」

代表 眞鍋 年雄



試合の時は全力で



メンバーは老若男女

みなさんの声 「近所づき合いが 災害時に生きてくる」



香川県防災士会
谷口 順子さん

共に助け合う「共助」の大切さを感じる場だと
思い、私も毎年お手伝いしています。

発災時「お隣さんに助けてもらった」「声掛
け合って、一緒に避難した」「避難先で知った
顔を見たらほっとした」という話をよく耳にし
ます。寝室にある家具の転倒防止対策も重要、
水、食事のローリング
ストックも大事ですが、
同じくらい、日ごろの
ご近所づき合いが大切
だと感じています。

日常的に非常食を食べて、
食べたら買い足す。

防災士会では、女性
部会が発足し、防災ク
ッキング、女性目線
での減災準備の講演会な
どへ出向いて
います。機会
がありましたら
ご聴講くだ
さい。



防災訓練では、けが人の運び方を伝授

あとがき

平成も残すところ半年足らず
となりました。今年には青山学院
の駅伝4連覇に始まり、南北首
脳会談、忘れてはならない西日
本豪雨、北海道大地震と激動の
1年となりました。西日本豪雨
ならびに北海道大地震の被害に
遭われた方にお見舞い申し上げ
るとともに、お亡くなりになら
れた方に対してお悔やみ申し上
げます。

さて、宇多津町も平成最後の
町長選挙が行われ、3期目とな
る谷川俊博町長が再選されまし
た。今後も谷川町長をはじめと
する執行部とともに安心、安全
な宇多津を守っていきけるよう
に一丸となって議論していきます。

(港 一紫)

議会広報特別委員会

委員長 西本 祐子

副委員長 大黒 一也

委員 港 一紫

委員 井上 弘治

委員 青木 義勝

発行責任者

議長 柴村 賢三